

エコアクション21

環境経営レポート

令和4年度

(令和4年6月～令和5年5月)

 双 和 株 式 会 社

発行日 令和5年11月17日

1. 組織の概要

①事業所名 双和株式会社
代表者氏名 : 代表取締役社長 山口毅

②所在地 〒571-0048
大阪府門真市新橋町34-13

③環境管理責任者
土谷 浩則

担当者氏名 川内 永吉

連絡先 Email: kawauchi883@gmail.com

TEL : 06-6909-6101

FAX : 06-6908-7073

④事業内容

鉄鋼卸販売業

⑤事業の規模

活動規模	単位	平成29年度	平成30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
生産量	ton	3615	3790	3110	3040	3840	4350
売上高	百万円	720	760	627	637	768	887
従業員	人	16	18	18	18	18	18
床面積	m ²	762	762	762	762	762	762
クレーン	基	3	3	3	3	3	3
切断機	台	9	9	9	9	9	9

⑥事業の経緯

昭和36年に双和電気(株)として創業しましたが、昭和51年に大博鋼業(株)の門真営業所(鋼材店)として双和(株)を設立。それ以降、門真 寝屋川 大東 東大阪 松原 枚方 摂津 京都地区の鋼材店、需要家を中心に磨きシャフト他、鋼材全般の卸販売業として現在に至る。

⑦認証範囲

エコアクション21の認証登録の対象範囲は、全組織全活動です。

環境経営方針

弊社は企業活動を通じて環境問題が人類共通の重要な課題であることを認識し、地球環境の保全や環境法規の遵守に努め、環境と調和した豊かな社会づくりに貢献します。

1. わが社は、鉄鋼販売卸売業の会社として全社員で協力し、環境経営システムを構築し、下記事項を重点テーマとして、効果的な取り組みを行います。
 - (1) 鉄鋼製品の切断時に発生する端材を有効活用し、不良スクラップ量の削減に努めます。
 - (2) 電気・水・燃料等、CO2・資源・エネルギーの使用量削減に努めます。
 - (3) 一般廃棄物の排出量削減につとめます。
2. 環境関連法規、各市町村条例を遵守致します。
3. この環境経営方針をもとに環境目標を定め、見直し・改善を行い、環境管理レベルの向上を図ります。
4. 以上の環境経営方針を全社員に周知徹底し、環境に対する意識を各々高め会社全体の環境保全に努めます。
5. 経営における課題とチャンスを踏まえて、経営します。
6. 環境経営の継続的改善を誓約します。

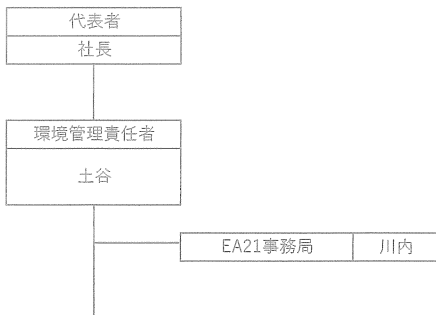
また、エネルギー費用やスクラップの削減だけでなく、不良スクラップを抑えることで、ミスの軽減にもつながり、お客様への信頼も厚くなり、持続的に継続することによって、売上数字を伸ばすことを目的といたします。

作成：平成23年 4月 1日
改訂：令和 4年12月19日
双和株式会社
代表取締役社長 山口 毅

双和(株) EA21 実施体制図および役割・責任・権限表

作成者： 川内

更新日： R4.11.10



部署	役割
現場	現場部門長
配送	運送部門長
現場	CO2排出量管理者
現場	電気使用量管理者
配送	ガス使用量管理者
配送	ガソリン使用量管理者
配送	軽油使用量管理者
配送	灯油使用量管理者
現場	一般ゴミ排出量管理者
現場	水使用量管理者
現場	スクラップ管理者

	役割・責任・権限
代表者（社長）	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営に関する統括責任 ・環境管理責任者を任命 ・環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境経営目標・環境経営計画書・環境経営レポートを承認
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営システムの構築・実施・管理 ・環境関連法規等の取りまとめ票を承認 ・環境経営目標・環境経営計画書を確認 ・環境経営の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの確認
EA21事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・環境管理責任者の補佐 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 ・環境経営目標・環境経営計画書原案の作成 ・環境経営の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境経営レポートの作成と公開（事務所備付） ・各営業所の所長・部門長・管理者の補佐 ・環境経営計画の進捗・達成状況の確認 ・特定された項目の手順書及び運用管理の確認
部門長	<ul style="list-style-type: none"> ・自部門における環境方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 ・特定された項目の手順書作成及び運用管理 ・自部門の問題点の発見・是正・予防処置の実施
管理者	<ul style="list-style-type: none"> ・特定された項目の手順書作成及び運用管理 ・自部門の集計及び部門長への報告 ・自部門の問題点の発見・是正・予防処置の実施
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

3. 環境経営目標と実績

①環境負荷の推移

年度事例：R4年度（R4.6月～R5.5月）

項目	単位	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
CO2排出量	kg-CO2	71,847	69,494	72,145	71,551
一般廃棄物排出量	kg	844	780	761	753
水使用量	m3	229	206	211	213
スクラップ排出量	kg	57,370	37,720	49,140	46,990
スクラップ排出量 (原単位)	kg/万円	0.915	0.592	0.639	0.530

二酸化炭素排出量を把握する際に用いた購入電力の排出係数は、
0.358kg-CO2/kWhを用いた

***事業活動において化学物質の使用はない。**

②目標設定と実績、および今年度以降の目標

目標数値については、前年度実績から1%削減とする

項目	単位		R3年度	R4年度	達成率 (%)	評価	R5年度	R6年度	R7年度
CO2排出量	kg-CO2	目標	68,800	71,424	99.8%	△	前年実績99%以下		
		実績	72,872	71,551					
電気使用量	原単位 (kWh/百万円)	目標	1.047	0.902	118.8%	◎	前年実績99%以下		
		実績	0.912	0.759					
ガソリン 使用量	L	目標	1,928	2,115	116.3%	◎	前年実績99%以下		
		実績	2,137	1,818					
軽油使用量	L	目標	15,413	16,148	96.4%	△	前年実績99%以下		
		実績	16,312	16,754					
一般廃棄物 排出量	kg	目標	773	753	100.0%	○	前年実績99%以下		
		実績	761	753					
水使用量	m3	目標	204	208	97.7%	△	前年実績99%以下		
		実績	211	213					
スクラップ 排出量	原単位 (kg/百万円)	目標	0.587	0.632	119.2%	◎	前年実績99%以下		
		実績	0.639	0.530					

◎：目標達成

△：目標達成90%以上

×：目標達成90%以下（是正）

4. 環境経営計画の取組結果の評価（詳細）

①CO2排出量の削減

実績としてはほぼ前年と同じ数値だが、合格点だと思います。

②一般廃棄物排出量の削減

この1年、特に社内、現場内での大きいゴミ等が出なかったのも、昨年と同じ実績であったのは、いいことだと思われる。

③水使用量の削減

やや増加しているものの許容範囲だと思います。

④スクラップ排出量

普段の整理整頓等が形として表れてきて減少傾向は喜ばしいこと。

5. 主な環境経営計画 下記の項目は良く実行されていた。

(1) 電気使用量の削減

- ①昼休み工場内は原則的に消灯する
- ②トイレの照明及び換気扇は使用時のみ点灯する
- ③応接間 更衣室の電気はつけっぱなしにしないようにこまめに切る
- ④スポットクーラー 電気ストーブなど作業以外では必ず切る
- ⑤使用しないコンセントは必ず抜く事を心がける
- ⑥節電の紙を貼りだす
- ⑦現場内の電灯を水銀灯からLEDへ全て移行した事での節約。

(2) ガソリン及び軽油使用量の削減

- ①エコドライブの推進
- ②急発進 急停止しないように心掛ける
- ③事務所にて注文書の間違いをなくす
- ④現場（事務所も）での鋼種、切り間違いをなくす。
- ⑤遠方で一か所のみ配達時は営業と工場長で必ず相談する

(3) 一般廃棄物排出量の削減

- ①FAX紙などの両面使用
- ②新聞紙 段ボールなどの再利用の徹底
- ③缶 ペットボトルなどの分別

(4) 水使用量の削減

- ①節水の紙を貼りだす
- ②水漏れ発見時 直ちに管理者へ報告 社員全員で日常点検を行う
- ③手洗い時の節水
- ④洗車時の節水
- ⑤洗濯はある程度まとめて行えるように、協力する。

(5) スクラップの削減

- ①工場長指導のもと残材利用を徹底
- ②端材の優先活用の確認を作業員全員がもつ事の徹底
- ③各要因のスクラップの区別 最小化の取り組み
- ④端材へのサイズ記入の徹底
- ⑤一部の在庫リストを作成、切断指示を出し仕入れの削減を実施

(6) グリーン購入

文房具を中心に、再生紙等を率先して購入することを心掛ける。

(7) 次年度の取り組み

R5年度については、上記「環境経営計画」を持続する。

6. 環境関連法規等への違反、訴訟等の有無

環境関連法規等の遵守状況及び違反、訴訟等の有無については、当社に適用される主な環境関連法規等の一覧及びそれらの遵守状況を確認した結果として、環境関連法規への違反はありません。なお、関係当局よりの違反等の指摘は、過去3年間ありません。

主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）	評価
廃棄物処理法	一般廃棄物の収集運搬の委託	適法
騒音・振動規制法	空気圧縮機・切断機等、届け出と運用	適法
消防法	スプレー缶・防錆油 保管	適法
フロン排出抑制法	簡易点検、記録の保管	適法
家電リサイクル法	今期廃棄無し	-
自動車リサイクル法		

7. 代表者による全体評価と見直し・指示の結果

前年からの99%目標に対して、全体的にいい数値が多く及第点であったと思われる。スクラップに関しても45C在庫表の毎週の管理更新が継続されていて、いい結果が出たのだと思われる。大博鋼業本社にて行われている、エコアクションのリモート会議（月1回）にも今後参加し、内部審査含めてさらに意識強化を希望する。この審査タイミングを早めて行い、タイムリーなEA活動をこれから更に推進していく。

- ・ 環境経営方針 変更なし
- ・ 環境経営目標 変更なし
- ・ 環境経営計画 変更なし
- ・ 実施体制 変更なし